	格工業高等	等専門学校	党 開講年度	開講年度 令和02年度 (2020年度)			建設・生産システム工学特別 研究Ⅱ		
科目基	礎情報								
科目番号	1	0042			科目区分	専門 / 前	· · · ·		
授業形態	Ř.	演習			単位の種別と単位	ž数 学修単位	ī: 8		
開設学科	1	建設・	生産システム工学専巧	 久	対象学年	専2			
開設期		通年			週時間数	前期:8			
教科書/	 教材	各指導	 教員の指示による		•				
担当教員	Į	高橋 剛木 邦康	」 ,渡邊 聖司,小杉 淳, 夏,草苅 敏夫,松林 道雄	前田 貴章,川村 淳浩 第 佐藤 彰治 西澤 兵	表 幸原 浩平 大棚	 ,関根 孝次,グエ 香子	ン・タン ソン,三森 敏司,千葉 忠弘,釺		
到達目	煙	717 7172			17(17(17) 11 1 17(17)	<u> </u>			
論文調査 日本語に	などにより、 よる論理的	、研究の背 な報告書作	景、社会のニーズな。 成とプレゼンテーシ	どを理解できる。課 ョン、英語による概	関解決を計画的に選 要説明ができる。	遂行できる。研	究成果の社会への影響を考察できる。		
ルーブ	リック		理想的な到達レ	·ベルの目安	標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
			研究の目的を士	分に理解し、研究	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,				
研究の背景や社会のニーズを理 できる			解の背景や社会二	一ズに関して自発 文献調査を行うこ	研究の目的を理解 や社会ニーズに関 文献調査を行うこ	は、研究の育園 して情報収集や ことが出来る	研究の目的を理解できず、それに 関する情報集や文献調査ができない		
課題解決	を計画的に	遂行できる	計画をたてるこ	研究課題の解決に向けて自主的に 計画をたてることができ、それに 沿って計画を遂行できる		で向けて計画をだる それに沿って記	研究課題の解決に向けて計画をたてることができず、それに沿って計画を遂行できない		
研究成果 きる	やの社会への	影響を考察	よぼす影響を十を遂行できる	る成果が社会にお分に理解し、研究	研究課題に対する よぼす影響を理解 できる	が成果が社会には ないのでを遂行 のである。	一 研究課題に対する成果が社会にお よぼす影響を理解できない		
とプレセ	よる論理的 ジンテーショ! 説明ができる	な報告書作 ン、英語に	ペ めて論述的にま	研究の流れや成果を自己表現を含めて論述的にまとめることができ、					
 学科の	到達目標耳	項目との!							
学習・教	育到達度目	標 B 学習	・教育到達度目標 D		 目標 E 学習・教育	到達度目標 F	学習・教育到達度目標 G		
		1-3 JABEE	d-4 JABEE e JABEE	f JABEE g					
教育方	法等								
概要		おける	知識や技術の必要性を	を認識する。さらに	:、研究遂行において	て修得した知識な	を育成する。研究・設計などの活動に や技術をもとに創造性を発揮し、計画 、コミュニケーション能力を育成する		
	動方・方法	おける 的に実 別紙の 長期に	知識や技術の必要性を 行する能力、論文作品 	を認識する。さらに 成・ 研究発表により 	、研究遂行において)文章表現力、プレ ニーニーニーニーニーニーニーニーニーニーニーニーニーニーニーニーニーニーニー	て修得した知識 ゼンテーション 験は実施しない 5性の発揮、計i	や技術をもとに創造性を発揮し、計画 、コミュニケーション能力を育成する		
概要 授業の進 注意点	が方・方法	おける。的に実の別紙の長期に度は指	知識や技術の必要性を行する能力、論文作品 評価方法によって評価をしたり、一つのテース 導教員との話し合いを	を認識する。さらに 成・ 研究発表により 面する。60点以上で でを追求するので、 を密にし、厳格な学 さらに発展さて、専	、研究遂行において つ文章表現力、プレー で合格である。 再試 自発的な学習、創造 習・研究が必要である。	で修得した知識でいたのでは、 できまれる できまる できまる できまる できまる はまた しない きせの発揮、計でする。	や技術をもとに創造性を発揮し、計画 、コミュニケーション能力を育成する 		
授業の進		おける。的に実の別紙の長期に度は指	知識や技術の必要性を 行する能力、論文作品 評価方法によって評価 わたり、一つのテート 導教員との話し合いを 究2は特別研究1をる	を認識する。さらに 成・ 研究発表により 面する。60点以上で でを追求するので、 を密にし、厳格な学 さらに発展さて、専	、研究遂行において つ文章表現力、プレー で合格である。 再試 自発的な学習、創造 習・研究が必要である。	で修得した知識でいたのでは、 できまれる できまる できまる できまる できまる はまた しない きせの発揮、計でする。	や技術をもとに創造性を発揮し、計画、コミュニケーション能力を育成する い。 動物は遂行が重要である。特に最終年		
授業の追 注意点		おける。的に実の別紙の長期に度は指	知識や技術の必要性を 行する能力、論文作品 評価方法によって評価 わたり、一つのテート 導教員との話し合いを 究2は特別研究1をる	を認識する。さらに 成・ 研究発表により 面する。60点以上で でを追求するので、 を密にし、厳格な学 さらに発展さて、専	、研究遂行において)文章表現力、プレー で合格である。 再試 自発的な学習、創造 習・研究が必要であ 「攻科研究の総まとと	で修得した知識でいたのでは、 できまれる できまる できまる できまる できまる はまた しない きせの発揮、計でする。	や技術をもとに創造性を発揮し、計画、コミュニケーション能力を育成する い。 動的な遂行が重要である。特に最終年 受与機構に提出する総まとめ科目とし		
受業の追 主意点		おける。 別紙の。 長期に 度は指 特別研 て、計	知識や技術の必要性を 行する能力、論文作所 評価方法によって評価 わたり、一つのテーマ 導教員との話し合いを 究2は特別研究1をで 画・成果を厳格に文章	を認識する。さらに 成・ 研究発表により	、研究遂行において)文章表現力、プレー ご合格である。 再試 自発的な学習、創造 習・研究が必要でま 「攻科研究の総まとと	で修得した知識で ゼンデーション 験は実施しない き性の発揮、計で ある。 かである。学位が 過ごとの到達目	や技術をもとに創造性を発揮し、計画、コミュニケーション能力を育成する い。 動的な遂行が重要である。特に最終年 受与機構に提出する総まとめ科目とし		
受業の追 主意点		おける実ののでは、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般	知識や技術の必要性を行する能力、論文作品 評価方法によって評価方法によって評価がたり、一つのテート導教員との話し合いを 究2は特別研究1を交通・成果を厳格に文章	を認識する。 さらに 成・ 研究発表により	、研究遂行において)文章表現力、プレー で合格である。 再試 自発的な学習、創造 習・研究が必要であ 近文科研究の総まとを	で修得した知識で ゼンデーション 験は実施しない き性の発揮、計で ある。 かである。学位が 過ごとの到達目	や技術をもとに創造性を発揮し、計画、コミュニケーション能力を育成する 、コミュニケーション能力を育成する 、。 画的な遂行が重要である。特に最終年 受与機構に提出する総まとめ科目とし 標 し、理解できる。		
受業の追 主意点		おける実の形成の長度は研究を表す。別紙のでは、一般を表す。	知識や技術の必要性を 行する能力、論文作品 評価方法によって評価 わたり、一つでである。 導教員との話し合いを 究2は特別研究1をで 画・成果を厳格に文章 授業内容 1. 応用的な研究	を認識する。さらに 成・研究発表により 画する。60点以上で マを追求するので、 を密にし、厳格な学 さらに発展さて、専 章化すること。	、研究遂行において 文章表現力、プレ で合格である。 再試 自発的な学習、創造 習・研究が必要でま で以科研究の総まと	で修得した知識ではシテーション 験は実施しない き性の発揮、計である。 かである。学位が 週ごとの到達目 研究課題を設定	や技術をもとに創造性を発揮し、計画、コミュニケーション能力を育成する し。 画的な遂行が重要である。特に最終年 受与機構に提出する総まとめ科目とし 標 し、理解できる。 調査できる。		
受業の追 主意点	画	おけにる実のに指摘して、対象を表して、対象を、対象を、も、対象を、も、対象を、も、対象を、対象を、も、対象を、も、対象を、対象を、対象を、も、も、も、も、も、も、も、も、も、も、も、も、も、も、も、も、も、も、も	知識や技術の必要性を行する能力、論文作所では、一つのテーマ等教員との話し合いを変えは特別研究1をでで、1、成果を厳格に文章を関連する技術ができません。 「関連する技術ができません。 「関連する技術ができます。」で、関連する技術ができます。 「フェース・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・	を認識する。さらに 成・研究発表により 面する。60点以上で でを追求するので、 を密にし、厳格な学 きらに発展さて、専 電化すること。	、研究遂行において 文章表現力、プレー で合格である。 再試 自発的な学習、創造 習・研究が必要であ 政科研究の総まとめ	で修得した知識では、 では実施しない。 を性の発揮、計である。 かである。学位が 過ごとの到達目 研究課題を設定 関連する技術を 関連する技術を	や技術をもとに創造性を発揮し、計画、コミュニケーション能力を育成する い。 画的な遂行が重要である。特に最終年 受与機構に提出する総まとめ科目とし 標 し、理解できる。 調査できる。 調査できる。		
受業の追 主意点		おけに 別紙期は 特て, 割 週 1週 2週 3週 4週	知識や技術の必要性を 行する能力、論文作品 評価方法によって評価 わたり、一つのテーマ 導教員との話し合いを 究2は特別研究1をを 画・成果を厳格に文章 授業内容 1. 応用的な研究記 2. 関連する技術	を認識する。さらに 成・研究発表により 画する。60点以上で でを追求するがな学 を密にし、厳さて、専 章化すること。 課題の設定 調査 調査	、研究遂行において)文章表現力、プレー で合格である。 再試 自発的な学習、創造 習・研究が必要であ では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	で修得した知識では、 では、実施しない を性の発揮、計算を表す。 かである。学位は 過ごとの到達目の研究課題を設定 関連する技術を	や技術をもとに創造性を発揮し、計画、コミュニケーション能力を育成する い。 画的な遂行が重要である。特に最終年受与機構に提出する総まとめ科目とし 標 し、理解できる。 調査できる。 調査できる。 調査できる。		
受業の追 主意点	画	おけに 別 服期は 特 て , 調 週 1 週 2 週 3 週 4 週 5 週 5 週 5 週 5 週 6 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8	知識や技術の必要性を行する能力、論文作所によって評価方法によって評価方と、一つのテーマ導教員と特別研究1をを選手の機構を厳格に文章を関連する技術に、関連する技術に、2. 関連する技術に、2. 関連する技術に、2. 関連する技術に、2. 関連する技術に、2. 関連する技術に、2. 関連する技術に、2. 関連する技術に、2. 関連する技術に、対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対	を認識する。さらに 成・研究発表により でも。60点以上で でも追求するがなな でを密にし、厳格な学 きらに発展さて、専 でもの設定 課題の設定 調査 調査 調査	、研究遂行において)文章表現力、プレー ご合格である。 再試 自発的な学習、創造 習・研究が必要であ 「攻科研究の総まとな	で修得した知識では、 では、実施しないません。 は、実施しないません。 は、で発揮、計である。 かである。学位は 関連する技術を 関連する技術を 関連する技術を 関連する技術を	や技術をもとに創造性を発揮し、計画、コミュニケーション能力を育成する。 動的な遂行が重要である。特に最終年受与機構に提出する総まとめ科目とし標際し、理解できる。 調査できる。 調査できる。 調査できる。 調査できる。		
受業の追 主意点	画	おけに 別 服期は 特で、 制 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週	知識や技術の必要性格	を認識する。さらにた。 一でないで、学生では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般	、研究遂行において)文章表現力、プレー で合格である。 再試 自発的な学習、創造 習・研究が必要であ で攻科研究の総まと	で修得した知識では、 は実施しない。 は実施しない。 は性の発揮、計である。学位がである。学位がである。学位がである。学位がでする技術を関連する技術を関連する技術を関連する技術を関連する技術を関連する技術を関連する技術を	や技術をもとに創造性を発揮し、計画、コミュニケーション能力を育成する。 動的な遂行が重要である。特に最終年 受与機構に提出する総まとめ科目とし 標 し、理解できる。 調査できる。 調査できる。 調査できる。 調査できる。 調査できる。		
受業の進主意点 受業計	画	おけに 別無域に 特で、 別題は別計 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週	知識や技術の必要性格行する能力、論文作的 でいたり でいたり でいたり でいたり でいたり でいたり でいたり でいたり	を認識する。 さらに だ	、研究遂行において)文章表現力、プレー で合格である。 再試 自発的な学習、創造 習・研究が必要であ 近文科研究の総まとを	で修得した知識といいでは、	や技術をもとに創造性を発揮し、計画、コミュニケーション能力を育成する。 、。 動的な遂行が重要である。特に最終年 受与機構に提出する総まとめ科目とし 標 し、理解できる。 調査できる。 調査できる。 調査できる。 調査できる。 調査できる。 調査できる。 調査できる。		
受業の進主意点 受業計	画	おけに 別長度 特で 別週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週	知識や技術の必要性格でする能力、論文作的では、このででででいる。 ででいる でいた いっかい かい でいる でいる でいる でいる でいる でいる でいる でいる でいる でい	を認識する。さらにた。 では、研究発表によれ、 でする。60点以上で、 でを追ぶし、厳格で、学を密に発えこと。 に発えこと。 課題の設定 調査 調査 調査 調査 調査 調査	、研究遂行において)文章表現力、プレー で合格である。 再試 自発的な学習、創造 習・研究が必要でま 近女科研究の総まとを	で修得した知識ン 様は実施揮、計で	や技術をもとに創造性を発揮し、計画、コミュニケーション能力を育成する 、。 動的な遂行が重要である。特に最終年 受与機構に提出する総まとめ科目とし 標 し、理解できる。 調査できる。		
受業の進主意点 受業計	画	おけに 別長度 特で 週週 3週 4週 5週 7週 8週 9週	知識や技術の必要性格でする能力、論文作的では、このででででいる。 ででいる でいた	を認識する。さらにた。 では、	、研究遂行において)文章表現力、プレー で合格である。 再試 自発的な学習、創造 習・研究が必要であ では、 では、 では、 では、 では、 では、 の総まとも	で修得した知識とは できない できない できない できない できない できない できない できない	や技術をもとに創造性を発揮し、計画、コミュニケーション能力を育成する い。 画的な遂行が重要である。特に最終年受与機構に提出する総まとめ科目とし 標 し、理解できる。 調査できる。 調査できる。 調査できる。 調査できる。 調査できる。 調査できる。 調査できる。 調査できる。 調査できる。		
受業の進主意点 受業計	画	おけに 別長度 特て 親期は別計 1週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週	知識や技術の必要性格	を認識する。さらに が・研究発表により 面する。60点以上で でを追い、厳さし、 でをいて、学 でいて、 に	、研究遂行において)文章表現力、プレー で合格である。 再試 自発的な学習、創造 習・研究が必要であ では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	で修得した知識とは できない はまた できない はまた できない はまた できない かである。学位 できない できない できない ができない ができない ができない がっている はんがん でいます できない できない できない できない できない できない できない できない	や技術をもとに創造性を発揮し、計画、コミュニケーション能力を育成する 、		
受業の進主意点 受業計	画	おけに 別長度 特て, 制 週 1週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週	知識や技術の必要性格	を認識する。 きらに が で さらに が で で きらに が で で き き に よ が で で き き に よ が で で き き に な で た ぎ ら に 発 こ と き き に で き き で で で き き に で で き き に で で で で	、研究遂行において)文章表現力、プレー で合格である。 再試 自発的な学習、創造 習・研究が必要でま では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	で修得した知識ンは終けまた。 はは実施しない はまた である。学位は である。学位は である。学位は では できます できます できます できます できます できます できます できます	や技術をもとに創造性を発揮し、計画、コミュニケーション能力を育成する。 動的な遂行が重要である。特に最終年受与機構に提出する総まとめ科目とし標し、理解できる。 調査できる。 調査できる。 調査できる。 調査できる。 調査できる。 調査できる。 ののできる。 ののできる。 ののできる。 ののできる。 ののできる。 できる。 ののできる。 ののできる。 ののできる。 できる。 ののできる。		
受業の進主意点 受業計	画	おけに 別長度 特て 別題 週 1週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 112週	知識や技術の必要性格でする能力、論文作的では、こののしたでである。 て評価方法によっののしたででいた。 との別研的をできる。 との別研的をできる。 との別のでは、 とののでは、 とのでは、 との	を認識する。。 を認識する。 高の発表により、 でので、学 専 でを当られて、 でを当られて、 でので、学 専 でを当られて、 にする。 のので、学 専 ので、学 を ので、学 専 ので、学 専 ので、学 を ので、学 専 ので、学 を ので、学 専 ので、学 を ので、学 を ので、を ので、を ので、で を ので、で を ので、で を ので、で を ので、で を ので、で を ので、で で で で で で で で で で で で で で で で で で で	、研究遂行において)文章表現力、プレ で合格である。 再試 自発的な学習、創造 習・研究が必要でま では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	で修得した知識ンは (修得) した知識ン (や技術をもとに創造性を発揮し、計画、コミュニケーション能力を育成する。 、		
受業の進主意点 受業計	画 1stQ	おけに 別長度 特で、 別週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 11週 11週 11週 11週	知識や技術の必要性格でする能力、論で技術の必要性格である。 て評価方法、によっのし合いをできる。 では、一の話では、一ののののののののののののののののののでは、一のでは、一のでは、一のでは、	を認識する。またりにからにからにからにからにからで発表により、	、研究遂行において)文章表現力、プレ で合格である。 再試 自発的な学習、創造 習・研究が必要でま び外研究の総まとを	で修得した知識とは実発揮、計では、計でである。学位は実発揮、計である。学位はである。学位はである。学位はである。学位はでは、計である。学位はでは、対しては、対しては、対しては、対しては、対しては、対しては、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、	や技術をもとに創造性を発揮し、計画、コミュニケーション能力を育成する。 、。 動的な遂行が重要である。特に最終年 受与機構に提出する総まとめ科目とし 標 し、理解できる。 調査できる。 調査できる。 調査できる。 調査できる。 調査できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。		
受業の進主意点 受業計	画 1stQ	おけに 別長度 特で 別 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週	知識や技術の必要性格である。 ででは、このには、このには、このには、このには、このには、このには、このには、このに	を認識する。表 60点 2 点 で、学 専 で 60点 2 点 で、	、研究遂行において)文章表現力、プレ で合格である。 再試 自発的な学習、創造 習・研究が必要でま では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	で作りたります。 では、	や技術をもとに創造性を発揮し、計画、コミュニケーション能力を育成する。 、。 動的な遂行が重要である。特に最終年 受与機構に提出する総まとめ科目とし 標 し、理解できる。 調査できる。 調査できる。 調査できる。 調査できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。		
受業の進主意点 受業計	画 1stQ	おけに 別長度特で、 別長度特で、 週週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 13週 14週 15週 15週	知識や技術の必要性格である。 でででいる でででいる でででいる でででいる でで で で で で で で	を認識する。またになった。 60 まで、	、研究遂行において)文章表現力、プレ で合格である。 再試 自発的な学習、創造 習・研究が必要でま では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	で修得した知識とは実発揮、計では、計でである。学位は実発揮、計である。学位はである。学位はである。学位はである。学位はでは、計である。学位はでは、対しては、対しては、対しては、対しては、対しては、対しては、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、	や技術をもとに創造性を発揮し、計画、コミュニケーション能力を育成する。 、		
受業の進主意点 受業計	画 1stQ	おけに 別長度 特で 週週 1週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 11週 11週 11週 11週 11週 11週 11週	知識や技術の必要性格	を認識する。。60点以上では、	、研究遂行において)文章表現力、プレー で合格である。 再試 自発的な学習、創造 習・研究が必要であ で以科研究の総まとな	で修得した知識では、 は は 実施	や技術をもとに創造性を発揮し、計画、コミュニケーション能力を育成する。 動的な遂行が重要である。特に最終年受与機構に提出する総まとめ科目とし標果し、理解できる。 調査できる。 調査できる。 調査できる。 調査できる。 調査できる。 できる。		
受業の進主意点 受業計	画 1stQ	お的。 別長度 特で、 別長度 特で、 1週 2週 3週 43週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 112週 113週 113週 113週 115週 116週 11週 11週 11週 11週 11週 11週 11週 11週 1	知識や技術の必要体的 で	を認識する。60点以上では、	、研究遂行において)文章表現力、プレー で合格である。 再試 自発的な学習、創造 習・研究が必要でま では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	で作りたります。 では、	や技術をもとに創造性を発揮し、計画、コミュニケーション能力を育成する。 動的な遂行が重要である。特に最終年受与機構に提出する総まとめ科目とし標し、理解できる。 調査できる。 調査できる。 調査できる。 調査できる。 調査できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 のできる。 できる。 のできる。 りで。 りできる。 りできる。 りできる。 りできる。 りできる。 りできる。 りできる。 りできる。 りで。 りで。 りで。 りで。 りで。 りで。 りで。 りで		
受業の進主意点 受業計	画 1stQ	お的。 別長度 特て 別長度 特て 別週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週	知識や技術の流 で評価 方法によって で で で で で で で で で で で で で で で で で で で	を認識する発表により、 では、	、研究遂行において)文章表現力、プレ で合格である。 再試 自発的な学習、創造 習・研究が必要でま では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	では、	や技術をもとに創造性を発揮し、計画、コミュニケーション能力を育成する。 動的な遂行が重要である。特に最終年受与機構に提出する総まとめ科目とし標明できる。 調査できる。 調査できる。 調査できる。 調査できる。 調査できる。 できる。 調査できる。 できる。		
受業の進主意点 受業計	画 1stQ	お的。 別長度 特で	知識やおけん。 おいま で で で で で で で で で で で で で で で で で で で	を認識する発表により、 では、	、研究遂行において)文章表現力、プレー で合格である。 再試 自発的な学習、創造 習・研究が必要でま では では では では では では では では では では	で作りたりでは、	や技術をもとに創造性を発揮し、計画、コミュニケーション能力を育成する。 動的な遂行が重要である。特に最終年受与機構に提出する総まとめ科目とし標に提出する総まとめ科目とし標できる。 調査できる。 調査できる。 調査できる。 調査できる。 で計画を立案できる。 て計画を立案できる。 て計画を立案できる。 「で計画を立案できる。 境を整備・構築できる。 境を整備・構築できる。 境を整備・構築できる。 境を整備・構築できる。 境を整備・構築できる。 た結果と理論との比較ができる。 の作成ができる。		
受業の進言点を受験できません。	画 1stQ	お的。 別長度 特で 週週 週週 週週 3週 4週 5週 月 13週 月 14週 月 15週 月 15回	知識やおけん。 おいま では かいま	を認識する発表により、 では、	、研究遂行において)文章表現力、プレ で合格である。 再試 自発的な学習、創造 習・研究が必要でま び、科研究の総まとを は の比較	では、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな	や技術をもとに創造性を発揮し、計画、コミュニケーション能力を育成する。 、。 動的な遂行が重要である。特に最終年受与機構に提出する総まとめ科目とし標し、理解できる。 調査できる。 調査できる。 調査できる。 調査できる。 できる。 できる。 で計画を立案できる。 で計画を立案できる。 で計画を立案できる。 で計画を立案できる。 では、構築できる。 境を整備・構築できる。 境を整備・構築できる。 りできる。 た結果と理論との比較ができる。 の作成ができる。 のの作成ができる。		
受業の進生意点を受験できません。	画 1stQ 2ndQ	お的。 別長度 特で 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週	知識やおかった。	を認識する発表により、 では、	、研究遂行において)文章表現力、プレ で合格である。 再試 自発的な学習、創造 習・研究が必要でま び、科研究の総まとを は の比較	では、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな	や技術をもとに創造性を発揮し、計画、コミュニケーション能力を育成する。 、		
受業の進生意点を受験できません。	画 1stQ 2ndQ	お的。 別長度特で 週週 3週 4週 5週 7週 8週 9週 10週 13週 14週 15週 16週 16週 16週 16週 16週 16週	知識やおかった。	を認識する。 60 点 以 で で 字 専 で 60 点 の で な ら に か で で 字 専 で 60 点 の で な ら に か で で 字 専 で 60 点 の で な で か で で き き で で で 字 専 で 60 点 の で な で か で で 字 専 で 60 点 の で な で で 字 専 で 60 点 の で な で で 字 専 で 60 点 で な で な で で 字 専 で 60 点 で な で な で で 字 専 で 60 点 で な で で 字 専 で 60 点 で な で な で で 字 専 で 60 点 で な で な で で 字 専 で 60 点 で な で で 字 専 で 60 点 で な で な で で 字 専 で 60 点 で な で で 字 専 で 60 点 で な で で 字 専 で 60 点 で な で で 字 専 で 60 点 で な で で 字 専 で 60 点 で な で で 字 専 で 60 点 で	、研究遂行において)文章表現力、プレ で合格である。 再試 自発的な学習・創造 習・研究が必要でま では では では の比較	では、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな	や技術をもとに創造性を発揮し、計画、コミュニケーション能力を育成する。 動的な遂行が重要である。特に最終年受与機構に提出する総まとめ科目とし標度し、理解できる。 調査できる。 調査できる。 調査できる。 調査できる。 調査できる。 できる。 できる。 できる。 で計画を立案できる。 で計画を立案できる。 で計画を立案できる。 できる。 できる。 で計画を立案できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。		
授業の追 注意点	画 1stQ 2ndQ	お的。別長度特で、週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週	知識のでは、	を認識する。 60 点の格 、	、研究遂行において)文章表現力、プレ で合格である。 再試 自発的な学習・創造 習・研究が必要でま では では では の比較	では、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな	や技術をもとに創造性を発揮し、計画、コミュニケーション能力を育成する。 、		
受業の進生意点を受験できません。	画 1stQ 2ndQ	お的。 別長度特で 週週 3週 4週 5週 7週 8週 9週 10週 13週 14週 15週 16週 16週 16週 16週 16週 16週	知識やおかった。	を認識する。 60 点の格 、	、研究遂行において)文章表現力、プレ で合格である。 再試 自発的なす習、創造 習・研究が必要でま では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	では、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな	や技術をもとに創造性を発揮し、計画、 いまユニケーション能力を育成する いまユニケーション能力を育成する いまのな遂行が重要である。特に最終年受与機構に提出する総まとめ科目とし標 し、理解できる。 調査できる。 調査できる。 調査できる。 調査できる。 で計画を立案できる。 で計画を立案できる。 で計画を立案できる。 で計画を立案できる。 がらを整備・構築できる。 境を整備・構築できる。 境を整備・構築できる。 境を整備・構築できる。 りた結果と理論との比較ができる。 かな考察ができる。 のな考察ができる。 りな考察ができる。 りな考察ができる。 りな考察ができる。 りな考察ができる。 りな考察ができる。		

		10週	9. 詣	扁文作成			研究論文を作成で	きる。				
	11週 10. 論文作成			論文作成			研究論文を作成できる。					
		12週 10. 研究成果発表準			準備		研究成果を図、表を用いて発表用に纏めることができ る。					
		13週	11.	研究成果発表			研究成果を発表することが			「できる。		
		14週	11.	成果要旨等の	作成		学位授与の申請ができる。					
		15週	11.	成果要旨等の	作成	学位授与の申請ができる。						
		16週	後期	期末試験:実施	しない							
モデルコス	アカリコ	キュラムの	学習	内容と到達	目標							
分類 分野			学習内容の到達目標			到達レベル 授業週]		
評価割合												
	試	験	発	表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	É	計		
総合評価割合	<u></u> 0	0)	0	0	0	40	100			
基礎的能力	0	0			0	0	0	0	0			
専門的能力		0)	0	0	0	40	100			
分野横断的能力		0			0	0	0	0	0			